



浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.1003 2020.07.22 (水)

2020~21年度 RI 会長 ホルガー クナーク
RI2620 地区ガバナー 荻原英生 (静岡ロータリークラブ)

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin

会長挨拶

先週は休会の代わりに2会場に分けて、ファイヤーサイドミーティングが開催され、竹内恵子副会長・安間みち子副会長担当ラインを中心にして進行して頂きました。今回は「クラブへの思い」について、様々な視点・切り口で語って頂き、楽しく刺激ある有意義な時間となりました。クラブの今後を考える上でのヒントや気付きもあったのではないのでしょうか。皆さん楽しく盛り上げて頂きまして誠にありがとうございました。特に、若い皆さん同様に前年度の地区運営に関わった経験がとても印象深かったようで、次の機会があったらもっとこうしたい、ああしたいとの更なる高みを描いていたことです。この経験は本当に貴重な機会の扉であったのだと感じました。

そして、19日は静岡グランシップにてR財団セミナーが開催され、久米ロータリー財団委員長と参加してきました。新型コロナ対策を考慮しながらも150名近くのメンバーが集まる中、大変幅広く盛沢山の内容でした。私は地区ポリオプラス小委員会委員長を兼任していますので、ポリオプラスについて説明させていただきました。今回印象深かったのはグローバル補助金奨学生2名の紹介・挨拶でした。難民支援関係の道に進みたいという志高い2人です。私は委員として面接にも立ち合わせていただきました。奨学金による経済的支援はもとより、現地にてバックアップされるロータリアンや留学校での人間関係がかけがえのない財産になっていると報告していました。また、R財団学友会(山静学友会)の活動報告もあり、ロータリーと関わりのある若者の活躍の幅広さを感じました。

ロータリーの友7月号の声に4月号に掲載された竹内会員ご夫婦の掲載記事への感想記事は皆さんいかがでしたでしょうか。「次世代を導くことこそが現役の使命であるのは当然の理。そのことをないがしろにしている自分に気付かせてくれました。」との内容でした。知らない仲間に影響を与えられることは素晴らしいと思いました。同号にはホルガー クナーク RI会長の紹介やメッセージも掲載され、RI会長は何より青少年交換プログラムでの活躍で知られていて、何百人を迎え入れ、関連の要職を務められています。そして若い世代に関心を持ち、RCがニーズを満す団体であるよう未来に向けて備えることを訴えています。全てに共通していることは世代間のつながりを強く持つことで永続的に発展し、社会に奉仕し、貢献していくことが重要であり、ひいては世代間を越えた仲間同士相互の成長を積極的に受け入れ、豊かで有意義な人生として楽しむ価値観が時代のニーズであるということだと思います。

本日はムンド校と奨学生の動画報告があります。若者の可能性を守ることの尊さを感じます。本日は、内容を一部変更しまして、開催します。ご参加の皆様お一人ずつコメントをいただきながら進めさせていただきますので、本日もよろしくお願いたします。

山口勝義



プログラム I

「ムンド奨学生ビデオレター」



プログラム II

「戦略；クラブ運営について」



幹事報告

配布物：会員証、会費請求書、コンサートパンフ

回覧：ガバナー月信13号
例会後理事会開催、次週例会のご案内

スマイル

山口勝義(前回例会のガバナー公式訪問への「お礼状」を荻原ガバナーより頂きました。内容は「ガバナー公式訪問に際して、前年度の地区ガバナー輩出ロータリークラブらしく、たいへん親切丁寧なご対応をいただきました。また、貴クラブの素晴らしい調和の取れた事業計画、クラブ運営に感嘆いたしました。」です。会員皆様のご協力のお陰です。誇りに思います。誠にありがとうございました。)



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp